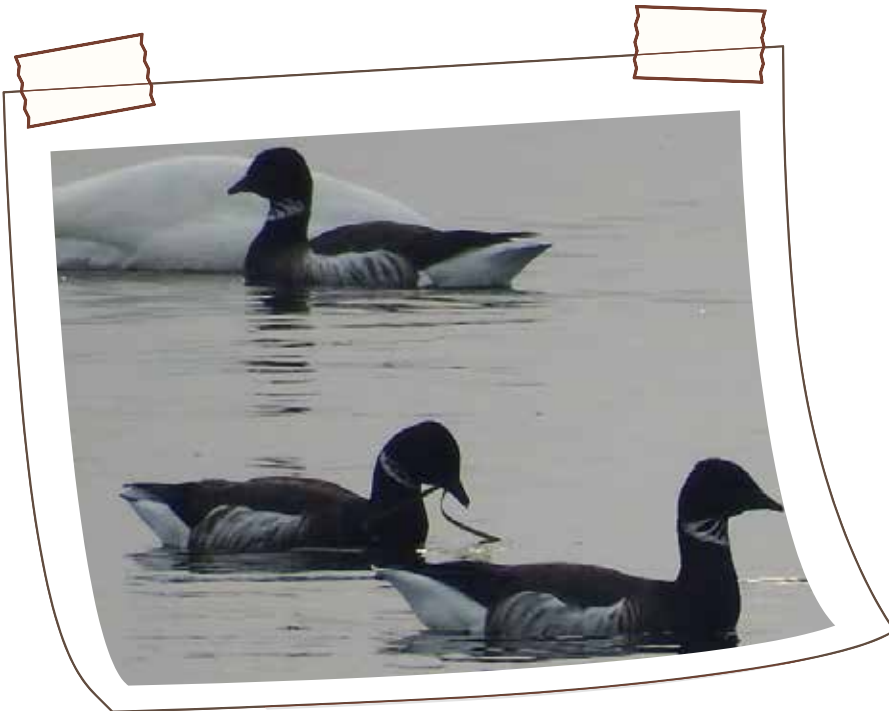




ネイチャーセンターだより

2018年11.12月号

新・いきもの図鑑



コクガン（カモ科）

体長61cmの小型のガンで、マガモと同じくらい大きさです。成鳥は、首のレース状の白いまだら模様もようが特ちょうです。繁殖地はんしよくはロシアの北極海沿岸で、秋になると風蓮湖・野付半島・厚岸湾などの道東地方に約8,600羽が飛来し、そのうち約2,500羽が道南や東北地方など国内で越冬えいとうします。春に再び道東地方を通過し、繁殖地へ渡るコクガンは約3,100羽で、残りの約6,000羽はどこで越冬し、どのルートたどを辿るのかはわかっていません。そこでコクガン共同調査グループが、渡り途中のコクガンに衛星発信機えいせい (GPS) を装着し、渡りのルートを探ろうと試みています。

【参考文献】

バードライフインターナショナル東京・道東コクガンネットワーク .2018. 野付湾のコクガンの謎
河井大輔ほか .2014. 北海道野鳥図鑑

キバシリ

漢字名：木走 Eurasian Treecreeper

10月21日 自然学習林の標柱24番付近ひょうちゆうの落葉樹らくの幹みきの上でさえずっている姿を、東梅駐車場とうばいちゆうしゃから確認しました。キバシリは留鳥で自然学習林では一年中見られます。ふだんは標柱15番付近しんようじゆの針葉樹の上で見ることが多いのですが、10月後半はネイチャーセンター付近の落葉樹ちくげきでの目撃が続きました。繁殖期のさえずりは3月～4月によく聞かれます。



トピックス

見どころMAP

オジロワシやオオワシが、防波堤ブロックの上に止まったり、干潟に下りています。



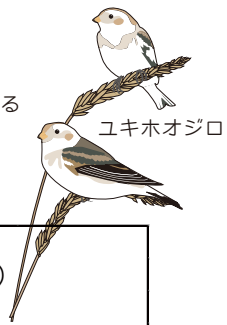
エゾリスやキツキ類がツタウルシの実を食べます。

11月上旬はヤマブドウ、ハリギリ、ミズナラなどの紅葉・黄葉が見られます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

11、12月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない



オオワシ オジロワシ	11月	+	2017年のオオワシの初認日は10/20(風蓮湖槍昔地区) 春国岱では11/1に初確認。
	12月	○	
タンチョウ	11月	○	春国岱周辺には、2つがいと今年生まれの幼鳥が1羽いる親子、つがいはまだ形成していない若鳥数羽がいる。 湖面に氷が張ると、鶴居村などの給餌場に移動するが、2017年は暖冬で春国台湾の氷が厚く張らず、移動しないつがいがいた。
	12月	+	
オオハクチョウ	11月	◎	2018年10月19日に実施した飛来数調査では、風蓮湖と温根沼合わせて1,200羽を確認。11月中旬頃が飛来数最大となる。風蓮湖に氷が張り始めると、厚岸湖や東北・北関東地方へ渡る。
	12月	○	
カモ類	11月	○	特にヒドリガモ・オナガガモ・スズガモが多い。ほかにマガモ・ハシビロガモ・コガモ・クロガモ(沖)・ホオジロガモ・ウミアイサなどが見られる。オオハクチョウと同様に、風蓮湖に氷が張り始めると南の地方へ渡る。
	12月	+	
カモメ類	11月	◎	オオセグロカモメ多い・夏鳥のウミネコに代わって冬鳥のシロカモメ・ユリカモメ・ワシカモメが増えてくる。
	12月	○	
通年			カラ類(ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ)・ゴジュウカラ・キバシリ キツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)
見どころ			冬鳥のユキホオジロ・ハマヒバリが春国岱の草原へ渡ってくる年がある。ユキホオジロの初認記録は、2017年は11/15、2016年は11/12。ハマヒバリが見られるのはまれで、2016年11/27に4羽確認。その後12月に4回、2月に1回確認

最近の野鳥記録

ミツユビカモメ

10月7日 台風25号が変わった^{おんたいていきあつ}温帯低気圧が通過中の^{つうかちゆう}激しい^{はげ}風雨^{ふうう}の中、14:30～15:40ごろ 約30羽がオオセグロカモメ、ウミネコ、カモメ、ワシカモメと共に^{しゅんくにたいわん}春国岱湾からネイチャーセンター前面の海面にかけて何度も飛んでいました。成鳥・幼鳥の両方がいました。

10月16日 8:30～10:40 11羽+ ^{しゅんくにたいちゆうしゃじょう}春国岱駐車場の^{おきあい}沖合^{なかす}の中洲で、オオセグロカモメ、ウミネコ、シロカモメ、セグロカモメと共に休んでいました。

ミツユビカモメは沖合に生息するといわれていますが、根室では半島の漁港で秋～冬に比較的よく見られます。しかし春国岱ではまれで、2012年～2017年の記録は1シーズンに多くて2回、記録0の年もありました。

過去の記録

2014年 2月2日、12月18日、27日

2015年 10月10日

2016年 1月25日

2017年 3月28日

2018年 10月7日、16日



ミサゴ

根室地方では数の少ない夏鳥。10月に春国岱では下記のように複数回、記録されました。いずれも、中谷地の上空で停空飛翔（ホバリング）を繰り返していました。

10月5日（1羽）、12日（1羽）、20日（1羽）
23日（1羽）、27日（2羽）

オオバン

根室地方では数の少ない冬鳥。ネイチャーセンターの窓辺のスコープで、眼下に見える前浜湿地の池にいるのを連日確認しました。

少なくとも2羽はいます。（初確認）10月21日


^{しゅんくにたい}春国岱クイズ

今年の6月に^{しゅんくにたい}春国岱で、日本最大のキツツキ、クマゲラが6年ぶりに観察されました。クマゲラはアイヌの人たちからは「チプタ・チカプ・カムイ」と呼ばれていますが、さてこの「チプタ・チカプ」とは、どういう意味でしょうか？

- ① クマのいどころを教えてくれる鳥
- ② 道案内をしてくれる鳥
- ③ ^{ふね}舟^ほを彫る鳥



イベント情報！

お問合せ・お申込みはネイチャーセンターへ

お申込み方法は直接・電話・メールでお願いします（連絡先は下記に）

お申込み時は参加者全員のお名前、ご連絡先、小・中・高生は学年をお知らせください



フィールド講座 1 クマガエラが森を育てる？ - その生態と大事な役割 -

11月18日（日）
13：30-15：30

春国岱で今年6年ぶりに確認された日本最大のキツツキ。道南地方でクマガエラの研究をしていた現・日本野鳥の会レンジャーが生態についてお話しします

対象／中学生～大人

定員／40名（先着）※11/16までにお申込みください

会場／春国岱ネイチャーセンター 2階

持ち物／筆記用具

講師／荒哲平さん（公財）日本野鳥の会 保全プロジェクト推進室

オオハクチョウ観察会

12月2日（日）
10：00-12：00

今年もオオハクチョウやカモが風蓮湖に渡ってきました！

水鳥の行動を観察し、渡り鳥の生活についてお話しします

対象／バードウォッチングに興味のある小学生～おとな

（初心者歓迎・小学生は保護者のかたが、同伴してください）

定員／20名（先着）※11/30までにお申込みください

集合・解散／道の駅スワン 44 ねむろ

持ち物／野外で活動できる暖かい服装・筆記用具・お持ちのかたは双眼鏡

参加費／100円（保険代）

* 荒天延期 12/9

フィールドマナーを守って

自然と他の利用者にご配慮ください

1. 観察路から外れないようにしてください
2. 動植物の採取や捕獲はしないでください
3. ゴミはお持ち帰りください
4. 所定の場所以外での喫煙はできません
5. 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
6. キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆休館日：11月5・7・14・21・26・28日（開館9：00-16：30）

12月5・12・19・25・26・29・30・31日

2019年1月1・2・3・9・15・16・23・30日

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

クイズのこたえ 答 ③ クマガエラは他のキツツキと違って、木の幹に丸い穴をあける他に、木を細長くえぐるようにけずることがあります。それをアイヌが見て、丸木舟の作り方を学んだ、ということになっています。クマガエラが人にヒグマのいどころを教えたり、道案内をしたりして、人を助けた、という言い伝えもあります。 出典：更科源蔵・更科光、1977、コタン生物記Ⅲ



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月 登録